



## 国際シンポジウム開 ”京都から催案内ノベーション” ～京都の起業文化と国際化について考える～

- ◆日 時：2013年11月21日（木） 13:00～17:00
- ◆場 所：立命館大学朱雀キャンパス 5階大講義室  
（京都市中京区西ノ京朱雀町1）
- ◆ア ク セ ス：JR福知山線二条駅下車徒歩2分、  
下記地図参照
- ◆参 加 費：無料
- ◆要事前申込：  
申し込み先 下記URLをクリックして登録下さい  
<http://design-science.jp/jsims/>（自動返信付）
- ◆問 合 せ 先：映像情報メディア学会事務局 電話：03-3432-  
4677（担当佐古宛、メルアド：sako@ite.or.jp）  
または産経新聞大阪本社大阪営業局企画開発部  
（担当：吉田里美）電話：06-6633-9493（ダイヤルイン）  
平日 10:00～17:00
- ◆参 加 定 員：350人

主催：一般社団法人映像情報メデイア学会

共催：産経新聞社、立命館大学デザイン科学研究センター

後援：（依頼予定）：近畿経済産業局、  
京都府、京都市、  
京都商工会議所、  
京都大学産官学連携本部、  
立命館大学、同志社大学、  
京都工芸繊維大学、  
京都市産業技術研究所、  
（公財）京都高度技術研究所



## プログラム① 基調講演

- 13:00-13:05 開会のことば:起業工学とは  
加納 剛太(アントレ研 特別顧問、元松下電子工業株 常務取締役)
- 13:05-13:15 研究会設立の趣旨と15年の歩み  
倉重 光宏 (アントレ研 顧問、元NHK放送技術研究所・研究主幹)
- 13:20-13:40 基調講演:京都の技術と起業文化  
西本 清一(京都市産業技術研究所所長、京都大学名誉教授・元同副学長)
- 13:40-14:10 基調講演:京都における産官学連携による起業への挑戦  
市原 達朗((公財)京都高度技術研究所 事業顧問、元オムロン株 副社長)
- 14:10-14:40 基調講演:「第3の半導体 SiC:基礎研究からオールジャパン体制で事業化—起業工学の実践事例—」  
松波 弘之(元JSTイノベーションプラザ京都 館長、京都大学名誉教授)
- 14:50-15:20 基調講演:「台日補完協業」という考え方による中国・アジア市場への展開  
張 俊彦(国立台湾交通大学名誉学長)
- 15:20-15:30 QA



## プログラム② パネル討論:日本のモノづくり再生のヒント

- 15:40-17:00  
コーディネーター 産経新聞大阪本社編集局経済部次長 島田 耕
- パネリスト1 経済産業省 近畿経済産業局 産業部長 坪田一郎
- パネリスト2 ローム株式会社 研究開発本部 副本部長 神澤 公
- パネリスト3 立命館大学特別招聘教授 津田雅也  
(元大日本スクリーン製造株式会社副社長)
- パネリスト4 同志社大学大学院博士課程後期学生 三田果菜  
世界経済フォーラム(Global Shapers Community) メンバー
- パネリスト5 魁半導体株式会社社長 田口 貢士
- パネリスト6 SOC(Synergy One Capital -台日産業控股投資基金)  
ジャパン代表 周神信也
- 17:00 閉会のことば  
平野 真(アントレ研委員長 芝浦工業大学教授)